



学校だより

令和2年度小川中学校
令和2年9月18日 発行
NO, 6 文責:小林 浩一

<校長講話より 9/17>

若鷹祭まであと2週間と少し。来週は3日しか登校日がありませんので、いよいよ準備も大詰めとなりました。それと平行して、西山地区の中学校でオンラインでの連携授業が3年生で行われています。9月11日に第一回を終了し、信濃毎日新聞にも掲載していただきましたので、新聞記事で知った1・2年生もいるかもしれません。本日が二回目の授業となります。今後、ネットを使つての授業や交流会など、ますます大切になってきます。先生方も、ここにきてオンラインでの会議が多くなってきました。

さて、9月1日は防災の日で、避難訓練を行いました。今日は「震災、その後」。特に大きな3つの地震について話したいと思います。ご存知のように関東大震災。9月1日でした。震度7の大きな揺れでしたが、この時に多くの犠牲者を出してしまった原因は何だと思いませんか。「火災」・「建物の崩壊」・「津波」、知っている方もいると思います。写真を見ると分かると思いますが、ほとんどの犠牲者が火災に巻き込まれて命を落としました。



なぜ大規模な火災が発生したのか。理由はいくつかあります。木造建築。風の向きと強さ。一番の原因は地震の起きた時間にありました。午前11時58分。どの家庭でもお昼ご飯の準備中でした。今のように多くの家庭がガスや電気器具を使っているわけではなく、当時の家庭では火をおこして調理をしていました。そこに巨大地震がきたわけです。ガスや電気と違ってすぐに火を止めることはできません。逃げることで精一杯。その結果、火災に巻き込まれて多くの命が失われてしまいました。

この状況を知った全国の若者が、東京に駆けつけて、支援の手を伸ばしました。その活動は、「奉仕の心」「奉仕活動」などと呼ばれました。

今から25年前。阪神淡路大震災が起きました。この時は建物の倒壊が多く犠牲者を生んでしまいました。建物の耐震基準を満たしていない家がたくさんありました。そして「関西には大地震は来ない」とも言われ、それを信じていました。建物の倒壊による犠牲が多かった理由は、他にもあります。地震の起きた時間です。朝5時46分。多くの方が家にいる時間でした。まだ寝ていた方もいるでしょう。

この地震があと2時間遅かったらどうだったでしょうか。電車は脱線し、多くの高速道路が崩壊しました。通勤時間に重なっていたら、更に犠牲は多かったかもしれません。

この阪神淡路大震災では、多くの方が駆けつけて支援してくれました。1995年は、ボランティア元年と呼ばれています。1100万人を超える方が、関西にボランティアに駆けつけてくれました。テレビの映像を見て、新聞の報道を見て、何かしなければと多くの人を動かししました。1100万人、すごい数です。

この年、校長先生が勤務していた学校では、生徒会の委員会で「奉仕委員会」というものがありました。クラスで老人ホームに行って交流をしたり、寄付金を集めたりといった活動は、「奉仕活動」と呼んでいました。「ボランティア」は今のようにどこでも使われる言葉ではありませんでした。まだまだ耳に馴染まない言葉であったことを思い出します。ここからボランティアという言葉が広がっていきました。

阪神淡路大震災が起きた1月17日は「防災とボランティアの日」と呼ばれています。9月1日の「防災の日」と区別して覚えましょう。

この震災から3年後、長野オリンピックが開催されました。ボランティアというものが定着してきたので、

たくさんのボランティアの方々が集まりオリンピックは大成功に終わりました。

東日本大震災。もうじきこの震災から10年となります。生徒の皆さんはまだ小学校に入学する前のことですね。皆さんもご存知のように、津波により多くの命が失われました。何もかも、波が奪い取ってしまいました。

ボランティアもかけつけました。しかし、阪神淡路大震災と比較すると、その数は4分の1ほどでした。多くの方がボランティアに駆けつけたくても、駆けつけられない事情がありました。関西と比べると地理的に集まりにくいこと。津波により多くの交通機関が遮断されてしまったこと。そして、福島第一原子力発電所の事故で、放射能汚染のために立ち入ることのできない地域が多く出来てしまったこと。様々な事情があります。すぐにでもボランティアに駆けつけたい。でも難しい状況でした。



少しでも自分の力を届けたい、何か自分にもできないだろうかと思う人々の気持ちはいつの時代も同じです。現地にいかなくてもできる支援をしようと、クラウドファンディングというものが、日本で初めて行われました。今までも寄付とか募金というものがありませんでした。これをネットを使って、オンラインで自宅から出来るようにしたもの。それがクラウドファンディングです。これにより、「応援したい」という思いが家庭から届けられるようになりました。

このクラウドファンディングが今年のコロナ禍において大きな力を発揮しました。4月、5月の臨時休業の中、世間でも自粛生活、外出自粛が続いていました。「わたしたちが今できること」「家庭からできる応援のかたち」でコロナ禍で支援が必要とされている方々に、やさしい気持ちが届きました。

4月16日。「マスクを医療従事者に」という活動が始まりました。この活動がネット上で紹介されると、24時間で1億5千万円を超えるお金が、ネットを通して集まりました。この活動をSNSで広めて、多くの共感する人々を集めました。4月16日と言えば、コロナへの恐怖心がピークだった頃でしょう。その時に、自分のことだけを考えるのではなく、今本当に何が必要なのかを考える人がたくさんいたこと。力強く、美しい姿です。自分もそうありたいと考えさせられました。そして、オンラインで活動することがどれだけ今の社会において必要なことか教えられました。

「収入やお小遣いの多い、少ないではありません。手元にあるお金をいかに自分や周りの幸せのために使えるか。それが豊かさだと思います。」そんな素敵な言葉にも出会いました。今、生徒会でもアルミ缶を集め、お金にかえて周りの幸せのために使う道を選んで活動してくれています。

生徒会活動、各学年の学び、部活動等の活動を通して、小川中学校もとても素敵な学校になってきています。その集大成が2週間後の若鷹祭です。皆さんの発表を、とても楽しみにしています。

～校長講話を聞いて～

火災や津波など大変なことが起きたのは知っていたけど、実際に当時の写真を見て、とてもびっくりしました。建物が壊れたり、現地の人には本当に辛かったと思うけど、そんな時の「ボランティア」や「奉仕の心」は、気持ちを落ち着かせてくれる支えになったと思います。私も危機感を高め、困っている人がいたら、手助けすることが大切だと改めて思いました。とても勉強になる話でした。

～1年生女子生徒の感想より～

今日は校長講話で、災害は怖いなと思いました。でも、その怖さは、誰もが知っているから日本中からボランティアがたくさん集まるんだらうなと思いました。私はその場所に行くことはできないと思うけど、助けに行くこと以外にも、助けられる方法を探してみたいと思います。

～2年生女子生徒の感想より～

周りの人のために自分が行動する。それは、相手の幸せになると同時に、自分の幸せ、成長につながると思った。自分たちが行っているアルミ缶の活動も、周りの人の幸せになるように、自分から行動できるようにしたいと思った。
～3年生男子生徒の感想より～

人のために何かできる、したいと思えるような心の豊かな人になりたいと思った。足りない中で、どう行動するかが、大切だと思った。
～3年生男子生徒の感想より～

8・9月の行事より

<生徒集会 アルミ缶の回収について 8月26日>



生徒集会の中で、生徒会長さんから、今年のアルミ缶の回収目標の300kgまで、あと220kgであること、そして会員一人ひとりがどれくらいの量のアルミ缶を集めたらよいのか、またどのように集めたらよいのかについて、具体的に説明をしてくれました。

一つ目は、アルミ缶220kgは、250ml缶なら17000本、350ml缶なら13000本分であり、生徒一人あたり約300缶に相当すること。二つ目は、一世帯一人あたりの年間アルミ缶使用飲料消費量は約100缶なので、家族が多くいれば、その分缶の消費量も多く集めやすいということ。三つ目は、本部執行のみなさんが実際に近所の方をお願いして集めてきたアルミ缶を見ながら、集め方を発表してくれたことです。数は少なくともみんなが持ってきてくれること、この活動に参加してくれることが大切だと思います。

<第1回 小川塾 8月26日>



第1回小川塾が行われました。目的は、各教科の勉強を自主的に進め、自分で勉強する自学自習の力をつけるためです。自学自習と言っても、分からない所は先生に聞くこともできます。

会場で距離をとっての実施でした。今後は、1年生と2年生は数学と英語を交互で行い、3年生は各自が受検に向けての学習を進めます。自分が興味あることや、自分で計画した学習などを行う時間を増やしていきましょう。

<水泳部新人大会壮行会 毎日パソコンコンクール/女子バレーボール部賞状伝達式

8月28日>

北信新人水泳大会の壮行会が行われました。8月の交流水泳大会では、3年生のみの参加でしたので、2年生、1年生の水泳部のみなさんにとっては、今年初めての大会になりました。そして、文化部のみなさんは、毎日パソコンコンクール検定結果を、女子バレーボール部のみなさんは、交流大会での賞状を校長先生より渡していただきました。



【水泳部新人水泳大会成績】

(1年) 50m自由形	37.87	27位
(2年) 50m自由形	34.31	17位
100m背泳ぎ	1:36.95	7位
(2年) 50m自由形	34.02	16位
100m平泳ぎ	1:35.69	9位



【文化部毎日パソコンコンクール成績】

(2年) 和文A中学生	準1級	(1年) 和文A中学生	2級
(1年) ホームポジション基礎	3級	(1年) ホームポジション基礎	2級

<第1回避難訓練 9月1日>



防災の日に合わせて、避難訓練が行われました。4月に臨時休業日等があり、1回目の避難訓練が行えなかったため、今年度はこの避難訓練が最初で最後の大切な訓練でした。

今回の避難訓練の設定は地震でした。事前学習では、地震の時の避難の方法と揺れが起きた時に机の下にもぐり、大きな揺れにも耐えられるようにしっかりと机を支えているかを確認しました。

避難訓練後に、校長先生より、避難訓練をいかに真剣に行えるか、意識を高められているかが、命を救うことになるというお話がありました。

近年、小川村でも例年になく暑さや雨の降り方など、異常気象を感じるようになりました。もし、災害が起きたらどうするか、常に心のどこかで準備しておくことが大切だと感じました。



<3学年3校合同オンライン授業① 中条中、戸隠中 9月11日>

全体会では、音声が聞こえないなどの不具合もあったが、分散会になってからは、音も聞こえ、司会を中心にしっかり進めることができた。初めてのことでぎこちないところもあったけれど、お互いの学校や文化祭の様子について知り合うことができたと思うので、よかった。次回は、更に有意義な会議になるようにしたい。

～女子生徒の感想より～



貴重な体験だった。トラブルもあったが、他校の活動について聞くのは、とても有意義だったと思う。他校の活動について、どんなことをしているのかなんとなく知ることができたが、質問の時間が短く、細かなことを聞くことができなかったのが、残念だった。課題は残ったが、とてもよい体験だった。

～男子生徒の感想より～



<PTA 作業 9月12日>



今年度の PTA 作業は、マスクの着用、事前の検温、集まる時には距離をとるなど新型コロナウイルスによる感染予防対策を行い実施しました。暑さを考慮して昨年より2週間ほど実施日を遅らせていたのですが、とても残暑が厳しく、立っているだけでも汗が止まらないくらいでした。そんな中、校庭の側溝の土砂の撤去、ビーバーを使用してのテニ



スコート周辺の草刈り作業、さらに花壇の整備までしていただきました。おかげさまで、校庭周辺がすっきりとし、気持ちよく生活できそうです。

<3学年3校合同オンライン授業② 信州新町中、大岡中 9月17日>

2回目のオンラインでの合同授業を新町中、大岡中と行いました。今回は、前回の反省も生かしつつ臨んだのですが、全体会では、またも音声と画像に不具合が出てしまいました。Zoom の操作ミスが原因なのですが、オンライン授業の回数を重ねて操作に慣れることが必要だなと感じました。

しかし、その後のグループでの分散会、終末での全体会は予定通り進み、上手くできたので良かったです。まとめの全体会では各校の生徒会長さんから感想発表があり、お互いに話しができてよかった、また行いたいという意見が出され、自然に拍手が起こったことが印象的でした。

今後は、2校に絞り、教科で合同授業を行っていく予定です。



<全校音楽集会 9月9日/15日>

若鷹祭の音楽会に向けて、全校音楽集会も行っています。例年ですと、音楽室に集まり行っていますが、3密を避けるために、今年は体育館で行っています。感染予防対策として、マスク着用、距離をとる、換気を行うなどしています。

全校で練習している曲は、「大地讃頌」「群青」「夢の世界を」です。パートごとの練習もしていますが、パートによっては人数が少なく、職員も一緒に練習しています。朝や放課後の学活では、学級からも美しい歌声が響いてきています。

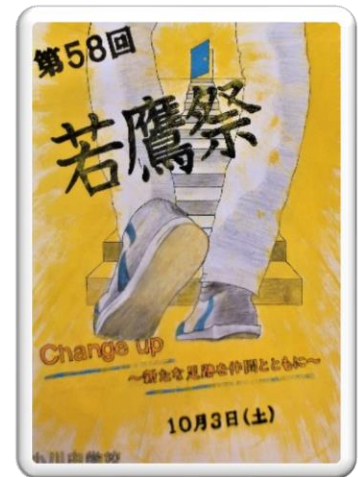


〈お知らせ〉

1. 第58回若鷹祭村内施設への掲示アンケート結果について

先日は、標記のアンケートにご協力いただきありがとうございました。ご意見をいただき、代表ポスターは校内の掲示とパンフレットの表紙に使用させて「いただきます。なお、パンフレットの配布は、生徒、保護者、来賓の皆様のみとさせていただきます。

村内施設への掲示は、右の生徒作品とさせていただきます。



2. 2学年生徒会選挙日程変更について

令和3年度生徒会立会演説会と投票の日程を年度当初の11/6(金)から11/19(木)へ変更いたします。それに伴って、選挙運動も同様に約2週間後にスタートいたします。若鷹祭での3年生の姿を見てから、来年度の生徒会についてじっくりと考えていきます。

3. 制服登校と衣替え移行期間について

若鷹祭の服装は基本制服になります。そこで、制服に慣れるためにも、9月28日(月)～10月2日(金)を制服登校とします。衣替え移行期間のため、Vシャツ、ブラウスは半袖でも長袖でもかまいません。若鷹祭後はコロナ対策で、ジャージ登校に戻す予定です。

4. 若鷹祭保護者控え室について

若鷹祭が1日開催となり、一日を通して文化祭にご参観される保護者のみなさまもおられると思います。その際、昼食場所として学習センターを控え室とさせていただきますので、ご利用ください。生徒会で作成した入学式や部活動応援のためのビデオを放映させていただきます。

5. アルミ缶集めへのご協力ありがとうございます。

生徒会では、ユニセフを通し諸外国の恵まれない子どもたちのために、アルミ缶回収を行っています。村内のみなさまにも、多くのアルミ缶を届けていただいております。感謝しております。現在、目標とする300kgまで、残り140kg程度となりました。引き続きご協力をお願いいたします。

6. 英語検定受検について(再度)

4月当初に英語検定受検と各種検定の推奨についてお知らせいたしましたが、第1回、第2回が終了し、残りの英語検定は1回のみとなりました。

村からの検定補助金、一人1500円がありますので、ぜひ、受検していただきたいと思います。今年度未受検の方は英語科の先生へ申し出てください。

第3回英語検定：受付期間 11/20(金)～12/10(木)

1次試験 1/22(金)～24日(日)(会場：小川中学校)

2次試験 2/2(日)(会場：未定)